Canon

FN-600

使用説明書

金融電卓

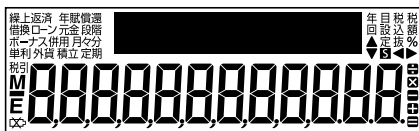
目次

キーの名前

使用上のご注意

本取扱説明書に記載されている内容は、将来改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本機を使用したことにより発生した損害（データの破損・業務の中断・営業情報の損失などによる損害を含む）および、第三者からのいかなる賠償請求が発生しても、当社は一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

ディスプレイ（表示部）

ディスプレイ表示ついて

計算の種類／状態がディスプレイに表示されます。計算機が演算をしている間、メッセージ“計算中！”が表示されることがあります。

アイコンの説明

預金（貯める）

定期	: 定期預金を計算するとき
積立	: 積立預金を計算するとき
単利	: 単利計算するとき
外貨	: 外貨預金を計算するとき
税引	: 源泉分離課税されているとき
S	: 預金メモリ（セーブ）

ローン（借りる）

ローン	: ローン元利均等計算をするとき
ローン元金	: ローン元金均等計算をするとき
年賦償還	: 年賦償還計算するとき
繰上返済	: 繰上返済計算するとき
借換	: 借換計算するとき
段階	: 段階金利計算するとき
ボーナス併用	: ボーナス併用計算するとき
ボーナス分	: ボーナス払い分の返済額を表示しているとき
月々	: 月々の返済を計算するとき
月々分	: 月々返済分の返済額を表示しているとき
設定	: 機能設定するとき
年目	: 何年目の表示をしているかを表示
回	: 何回の表示をしているかを表示

▲▼◀▶	: ▲▼◀▶キーを使うことができるとき
(電池マーク)	: 電池残量が少ないとき
＋ － ÷ × ＝	: 計算状態表示
税込/税抜/税%	: 税込、税抜、税率の表示
M	: メモリ計算（通常計算、金融計算は除く）時、メモリ内に数値があることを表示
E	: エラー

ご使用になる前に

電源ON／OFF

最初の操作：

1. 本体表側の電池絶縁シートを引き出してください。計算機の電源を入れることができるようになります。
2. 計算機をリセットするには、ボールペン等の先の尖ったもので[RESET]ボタンを押してください。※ [RESET] ボタンは本体裏面にあります。

入 CA (電源 ON/クリア) : 電源を入れます。

切 (電源 OFF) : 電源を切ります。

オートパワーオフ機能：

本機は約7分間操作を行わないと、自動的に電源が切れます。
※計算中の内容はリセットされます。

表示コントラスト調整

入 CA 設定 を押してください。以下の表示が現れ、液晶ディスプレイのコントラストを調整できます。

＋ を押すと表示が濃くなります。

－ を押すと表示が薄くなります。

調整後 入 CA を押すと、コントラストが確定し、元の画面に戻ります。
[RESET] を押すと液晶ディスプレイを初期化(出荷時状態に戻る)します。

日付と時計の表示

日付と時刻を表示する：

[日時] を押すと日付と曜日が表示されます。 [M≡ 日/月/年] を押し、表示方法を選択します。例：年／月／日（初期設定）、日／月／年、月／日／年。

日付　（火）
2008-01-01
年／月／日

[入力 決定] を押すと時刻が表示されます。 [M± 12/24] を押し、12時間／24時間表示を選択します。

[日時] [入力 決定] または、 [日時] [▶] を押しても時刻が表示されます。

時間　AM
12-00-00
12時間表示

日付と時計の設定：

[CA 入] [設定] を押して ください。 [入力 決定] を7回押すと、以下の表示が現れます。左側の点滅しているところから数字キーを使用して入力します。

日付? Y-M-D
2008-01-01

[入力 決定] を押すと設定が登録され、以下の時間設定表示が現れます。左側の点滅しているところから数字キーを使用して時間を入力し、 [▲] [▼] キーを使いAM／PMを選択します。※時刻の表示を“24時間”に設定している場合、AM/PMは選択できません。

時間?　AM
12-00

[入力 決定] を押すと設定が完了です。(秒は自動的に「00」にリセットされます。)

※日付と時刻を設定中に、 [M≡ 日/月/年] または [M± 12/24] キーを使って表示を変えることはできません。

設定項目一覧

[入 CA] [設定] を押してください。[入力 決定] または [▶] キーを押すと設定が決定され、次の設定項目が表示されます。[◀] キーを押すと前の画面に戻ります。再び [入 CA] を押すと設定の画面が終了します。

以下の項目が設定できます。

表示	該当する計算	入力可能範囲	初期設定	説明
-CONTRAST+	全ての計算	1-16 レベル	8 レベル	[+] [−] で表示コントラストを調整。
源泉分離課税率	単利計算、定期預金、積立預金、外貨預金	0-100	20	源泉分離課税率を設定。(小数点も入力可能)
利率期間 1〜	ローン、年賦償還、繰上返済、借換	1-98	10	段階金利の利率が変わる時期を年単位で設定。
1 2 4 12回複利	定期預金、積立預金、	1, 2, 4, 12	12	[▲] [▼] キーで1年当たりの複利回数を設定。
端日数	年賦償還、繰上返済、借換	0-62	0	借入日から初回支払日までの日数を設定。
年月→1 回数→2	ローン元金均等、年賦償還、繰上返済、借換	1,2	1	[▲] [▼] キーで年月／回数どちらかの入力方法を設定。
ボーナス支払月	ローン、年賦償還、繰上返済、借換	1-7 2-8 3-9 4-10 5-11 6-12	1-7	[▲] [▼] キーで支払い月を設定。
日付?	日付と時計の表示	年 : 2008-2099 月 : 01-12 日 : 01-31	年-日-月 2008-01-01	現在の日付を設定。
時間?	日付と時計の表示	**12時間表示** 時間 : 01-12 分 : 00-59 **24時間表示** 時間 : 00-23 分 : 00-59	12 時間表示 12:00 AM	[▲] [▼] キーでAM/PMを設定。(12時間表示の場合のみ)

初期化する

各種設定をやり直したい場合は、すべてを初期化できます。ボールペン等の先の尖ったもので本体裏の [RESET] ボタンを押してください。

基本的な計算のしかた

始めに [CA]（入） を押してください。

計算	操作	表示
▽基本計算	[CA]	(0.)
140-35+22=127	140 [−] 35 [+] 22 [=]	(127. =)
2 x 2 3=6	2 [×] 2 [CI/C] 3 [=]	(6. =)
7 x 99=63	7 [×] 99 [BS] [=]	(63. =)
(2+4) ÷3 x 8.1=16.2	2 [+] 4 [÷] 3 [×] 8 [.] 1 [=]	(16.2 =)
▽パーセント計算		
1,200 x 12/100=144	1200 [×] 12 [%±]	(144.)
1,200 x 15/100=180	15 [%±]	(180.)
1,200+(1200 x 20%)=1,440	1200 [+] 20 [%±]	(1,440.)
1,200-(1200 x 20%)=960	1200 [−] 20 [%±]	(960.)
▽メモリ		
3 x 4=12	[CA]	(0.)
-) 6÷0.2=30	3 x 4 [M±]	(M 12.)
-18	6 ÷ [.] 2 [M≡]	(M 30.)
+) 200	[RM/CM]	(M -18.)
182	200 [M±]	(M 200.)
	[RM/CM]	(M 182)
	[RM/CM]	(182)
▽税計算（金融計算モード [RM/CM] 中は使えません。）		
税率の設定（例：5%に設定） 税率 = 5%	[CA] [税込]（税率設定） 5 [税込]（税率設定）	(5. 税 %)
税率確認	[CA] [税抜]（税率確認）	(5. 税 %)
税込計算 税抜表示価格2,000の場合の税込額／税額を求めます。	[CA] 2000	(2,000.)
税込額 = (￥2,100)	[税込]（税率設定）	(2,100. 税込)
税額 = (￥100)	[税込]（税率設定）	(100. 税額)
税抜計算 税込表示価格3,150の場合の税抜額／税額を求めます。	[CA] 3150	(3,150.)
税抜 = (￥3,000)	[税抜]（税率確認）	(3,000. 税抜)
税額 = (￥150)	[税抜]（税率確認）	(150. 税額)

入力可能範囲およびディスプレイメッセージ

演算精度・演算範囲

・内部演算桁数：最大16桁
・精度：1回の計算につき12桁目の誤差、±１。連続計算の場合には誤差が累積
　され、そのため誤差がより大きくなることがあります。
・金融計算では実数、整数を入力します。（例外を除きます。）
・出力範囲 0 ～ 999 999 999 999（例外を除きます。）

※重複する説明は省略しています。

種類	メッセージ	説明	計算可能範囲
定期預金	元金	定期預金へ預けた金額	0＜元金≦999 999 999 999
	利率％	預金の金利（複利計算）	0.001≦利率％≦200
	月数	定期預金への預け入れ月数	1≦月数≦1200
	元利合計額	定期預金満期時の金額	0＜元利合計額≦999 999 999 999
	利息	預金の金利額	
積立預金	積立額	積立預金への月々の預け 入れ額	0＜積立額≦999 999 999 999
	利率％	預金の金利（複利計算）	0.001≦利率％≦200
	月数	積立預金への預け入れ月数	1≦月数≦1200
	受取額	積立預金満期時の金額	0＜受取額≦999 999 999 999
	利息	預金の金利額	
外貨預金	預入時レート	預入時のTTS ※TTS=Telegraphic Transfer Selling rate （銀行の外貨売価）	0＜TTS≦999 999 999 999
	満期時レート	満期時のTTB ※TTB=Telegraphic Transfer buying rate （銀行の外貨買価）	0＜TTB≦999 999 999 999
	元金	初めの預金額	0＜元金≦999 999 999 999
	利率％	預金の金利（単利計算）	0.001≦利率％≦200
	年間日数	1年間の日数	360／365 ※整数を入力
	日数	日数	1≦日数≦999 999 999 999
	満期時受取額	外貨預金満期時の受取額	0＜満期時受取額≦999 999 999 999
	損益分岐点	損益分岐点 TTB	

種類	メッセージ	説明	計算可能範囲
単利計算	元金	初めに預けた金額	0＜元金≦999 999 999 999
	利率%	預金の金利（単利計算）	0.001≦利率%≦200
	年間日数	1年間の日数	360／365
	日数	日数	1≦日数≦999 999 999 999
	元利合計額	単利計算での受取額	0＜金額≦999 999 999 999
	利息	預金の金利額	
預金メモリ	総元金	預金メモリA～Eの総預金額	
	総元利合計額	預金メモリA～Eの総元利合計額	
ローン元利均等（固定金利＆ボーナスなし）	固定->1 段階->2	固定金利／段階金利	1／2 ※整数を入力
	借入元金(月	初めに借りた金額	0＜元金≦999 999 999 999
	利率%	ローンの金利	0.001≦利率%≦200
	月数	返済にかかる月数	1≦月数≦1200
	返済額(月	月々の返済額	0＜返済額(月)≦999 999 999 999
	返済総額	返済の総額	0＜返済総額≦999 999 999 999
	利息総額	利息の総額	
ローン元利均等（固定金利＆ボーナス併用）	借入元金(月	月々に返済する分の借り入れ額	0＜元金≦999 999 999 999
	借入元金(ボ	ボーナス時に返済する分の借り入れ額	0＜ボーナス元金≦999 999 999 999
	ボーナス回数	返済期間でのボーナス回数	1≦ボーナス回数≦200 ※整数を入力
	返済額(月	月々の返済額	0＜返済額(月)≦999 999 999 999
	返済額(ボ	ボーナス時の返済額	0＜返済額(ボ)≦999 999 999 999
ローン元利均等（段階金利＆ボーナスなし）	利率%　~10	10年目までの金利(1段階)	0.001≦利率%1≦200
	利率%　11~	11年目からの金利(2段階)	0.001≦利率%2≦200
	返済額(月　~10	10年目までの月々の返済額	0＜返済額(月)1≦999 999 999 999
	返済額(月　11~	11年目からの月々の返済額	0＜返済額(月)2≦999 999 999 999
ローン元利均等（段階金利＆ボーナス併用）	返済額(ボ　~10	10年目までのボーナス月の返済額（月々の返済額に加算）	0＜返済額(ボ)1≦999 999 999 999
	返済額(ボ　11~	11年目からのボーナス月の返済額（月々の返済額に加算）	0＜返済額(ボ)2≦999 999 999 999

種類	メッセージ	説明	計算可能範囲
元金均等 (固定金利 ＆ボーナス なし)	月数	返済にかかる月数	1≦月数≦1200 ※整数を入力
	初回支払年月	初めての返済年月 (年月入力)	1901-01 ～ 2099-12※1
	算出年月	返済額を確認したい年月 (年月入力)	1901-01 ～ 2099-12※1
	何回目の返済	返済額を確認したい年月 (回数入力)	1≦何回目の返済≦1200 ※1返済にかかる月数よりも大きな数を入力した場合はエラーになります。
	返済後残高	返済後の残高	
	返済額(元金	元金部分の返済額(月々)	0＜返済額(月)元金部分≦999 999 999 999
元金均等 (固定金利 ＆ボーナス 併用)	初回ボーナスまで	初回の月々の返済から、ボーナス返済までの回数 (回数を入力)	1≦初回ボーナスまで≦6 ※整数を入力
	返済額(月+ボ	ボーナス返済月の返済額 (月々の返済額に加算)	
年賦償還	利息部分	金利部分の返済額(月々)	
	元金部分	元金部分の返済額(月々)	
繰上返済 – 期間短縮	1 期間短縮型	期間短縮	▲ / ▼ キーで選択
	2 金額軽減型	金額軽減	▲ / ▼ キーで選択
	3 借換計算	借換	▲ / ▼ キーで選択
	算出前残高	繰上返済する前の返済残高	
	繰)返済予定額	繰上返済する予定金額	0＜繰)返済予定額≦999 999 999 999 (算出前残高≧繰上返済予定額)
	繰上返済額123回	繰上返済金額 (123回＝短縮された返済回数) ※例123	
	利息軽減総額	軽減された金利の総額	
	繰)返済後残高	繰上返済後の返済残高	
繰上返済 – 期間短縮 (ボーナス 併用)	繰上返済額(月	繰上返済額のうち実際の月々の返済額	
	繰上返済額(ボ	繰上返済額のうち実際のボーナス返済額	
繰上返済 – 金額軽減 (固定金利 ＆ボーナス なし)	新返済額(月	繰上返済後の月々の返済額	
	軽減額(月	繰上返済後に軽減された月々の返済額	

種類	メッセージ	説明	計算可能範囲
繰上返済－金額軽減(固定金利＆ボーナス併用)	繰)ボーナス額	ボーナス返済分の繰上返済予定額	0＜繰)ボーナス額≦999 999 999 999 (ボーナス払い分の算出前残高≧繰)ボーナス額)
	新返済額(ボ	繰上返済後のボーナス返済額（1回づつの返済額)	
	軽減額(ボ	繰上返済後のボーナス返済軽減額（1回ずつの返済額)	
繰上返済－金額軽減(段階金利＆ボーナスなし)	新返済額(月~10	10年目までの繰上返済後の月々の返済額	
	軽減額(月~10	10年目までの繰上返済後の月々の軽減額	
	新返済額(月11~	11年目からの繰上返済後の月々の返済額	
	軽減額(月11~	11年目からの繰上返済後の月々の軽減額	
繰上返済－金額軽減(段階金利＆ボーナス併用)	新返済額(ボ~10	10年目までの繰上返済後のボーナス返済額（1回の返済額)	
	軽減額(ボ~10	10年目までのボーナス返済軽減額（1回の返済額)	
	新返済額(ボ11~	11年目からの繰上返済後のボーナス返済額（1回の返済額)	
	軽減額(ボ11~	11年目からのボーナス返済軽減額(1回の返済額)	
借換ボーナスなし	残返済総額	借換前のローンでの残り返済総額	
	新借入元金(月	新規ローンでの借入元金総額	0＜(新)元金≦999 999 999 999
	新)利率%	新規ローンの金利レート	0.001≦ (新)利率%≦200
	新)月数	新規ローンでの返済月数	1≦(新)月数≦1200 ※整数を入力
	新返済額(月	新規ローンでの月々の返済額	
	新)返済総額	新規ローンでの返済総額	
	旧)残返済総額	借換前のローンでの残り返済総額	残返済総額と同じ値
	返済総額の差	借換前と借換後のローン返済総額の差	
	借換諸費用	借換にかかる手数料	0≦手数料≦999 999 999 999
	差額(諸経費込	諸経費をふくめた返済総額の差	新）返済総額－旧）残返済総額

種類	メッセージ	説明	計算可能範囲
借換ボーナス併用	経過利息	借換前最後のボーナス返済月～借換までの期間に生じる利息	
	新借入元金(ボ	新規ローンでのボーナス返済金額	0＜(新)ボーナス部分元金≦999 999 999 999
	新)初回ボーナスまで	新規ローンでの初回の月返済日から初回のボーナス返済日までの月数	1≦新)初回ボーナスまで≦6 ※整数を入力
	新返済額(ボ	ボーナス返済分の新返済額（1回の返済額）	
通貨換算	基準通貨	基準通貨	0＜基準通貨≦999 999 999 999
	取引レート	基準通貨から外貨への取引レート	0＜取引レート≦999 999 999 999
	変換通貨	変換通貨	0＜変換通貨≦999 999 999 999
金利変換	実効金利	実効金利	0＜実効金利≦999 999 999 999
	利息回数	1年間の複利回数	0＜回数≦999 999 999 999
	表面金利	表面金利	0＜表面金利≦999 999 999 999
日付＆時間表示	日付(木)	今日の日付と曜日	
	時間AM	時間	
日数計算	年間日数	1年間のモードを決定	360／365 ※整数を入力
	始点日	始点日	1901-01-01～9999-12-31
	終点日	終点日	1901-01-01～9999-12-31
	日数	日数	-2958098 ～ 2958098 (負の数も入力できます。)

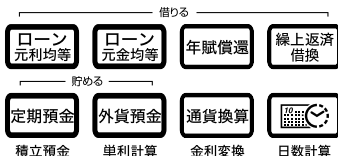
※連続計算の場合には誤差が累積され、そのため誤差がより大きくなることがあります。

オーバーフロー

エラーの原因を示すメッセージ “E” が表示されている間は、本機はロックされ、使用できません。CI/C または 入CA を押すと、オーバーフローがクリアされます。

オーバーフローは次の入力を行った時に起こります。

1. 演算結果の整数部が12桁を超えた場合。
2. 0で割った場合。
3. 入力値が許容計算範囲を超えている場合。
4. 許容計算範囲を超える値を用いて計算を実行しようとした場合。
5. 初回支払年月から算出年月までの月数〉月数
6. “何回目の返済？”〉月数
7. “初回ボーナスまで？”〉月数

金融計算機能について

次の金融計算ができます。

操作	金融計算の種類	表示ディスプレイ
1. [定期預金]	定期預金計算	定期
2. [定期預金] [定期預金]	積立預金計算	積立
3. [外貨預金]	外貨換算計算	外貨
4. [外貨預金] [外貨預金]	単利計算	単利
5. [ローン 元利均等] ※1	ローン – 元利均等（ボーナスなし）計算	ローン、月々
6. [ローン 元利均等] [ローン 元利均等] ※1	ローン – 元利均等（ボーナスあり）計算	ローン、ボーナス併用
7. [ローン 元金均等]	ローン – 元金均等（ボーナスなし）計算	ローン、元金、月々
8. [ローン 元金均等] [ローン 元金均等]	ローン – 元金均等（ボーナスあり）計算	ローン、元金、ボーナス併用
9. [年賦償還] ※1	年賦償還（ボーナスなし）計算	年賦償還、月々
10. [年賦償還] [年賦償還] ※1	年賦償還（ボーナスあり）計算	年賦償還、ボーナス併用
11. [繰上返済 借換] ※1※2	繰上返済（ボーナスなし）計算	繰上返済、月々
12. [繰上返済 借換] [繰上返済 借換] ※1※2	繰上返済（ボーナスあり）計算	繰上返済、ボーナス併用
13. [通貨換算]	通貨換算計算	
14. [通貨換算] [通貨換算]	金利変換計算	
15. [日数計算キー]	日付／時計／曜日	
16. [日数計算キー] [日数計算キー]	日数計算	

※1
ローン 元利均等、年賦償還、繰上返済、借換計算をするときには2通りの金利から選択します。
固定 → 1 – 固定金利のときには1を選択します。
段階 → 2 – 段階金利のときには2を選択します。

[1] または [2] を押し、金利タイプを選択後に [入力 決定] を押します。
「段階 → 2」を選択した場合、“段階”アイコンがディスプレイに表示されます。

※2
繰上返済、借換計算をするときは固定→1、段階→2画面で金利を選択した後、▲/▼キーで次の計算が選択できます。

1 期間短縮
2 金額軽減
3 借換

1. 借りる／貯める計算、通貨換算などの金融計算モードに入った後、▲/▼キーで計算項目を選択し、入力 決定キーで決定します。

2. 計算項目を決定すると、表示メッセージに従いデータ（数値）を入力していきます。
▪メッセージに“?”がある時は、データ（数値）を入力してください。
▪メッセージに“=”がある時は、演算結果を表示しています。

3. データ（数値）は入力可能範囲内で入力し、入力 決定または▶キーで決定すると次のステップが表示されます。

4. 間違えたデータ（数値）や、キー入力をした場合は、“E”（エラーアイコン）が表示されます。CI/CキーでEをクリアしてください。

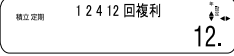
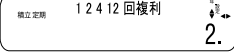
● 金融計算モード中も＋、－、×、÷、%±、M±、M≡などの基本的な計算機能が使えます。＝で演算し、入力 決定キーで入力を決定してください。金融計算モード中に税込 税抜キーは使えません。

● “◀”アイコンが表示されている時は、◀キーで既に入力した画面へ戻ることができます。

● データ（数値）を入力中でも、入 CAキーで金融計算モードを終わらせることができます。再度、計算項目を選択すると新たにデータ（数値）を入力し入力 決定キーで決定するまでは、前のデータ（数値）が記憶されています。

重要：
この計算機は、一般に考えられる預金、ローン、年賦償還、繰上返済に基づき計算しています。実際に取引をされる場合には、必ず金融機関にご確認ください。この計算機により生じた損害・逸失利益、また第三者からのいかなる請求についても当社では一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

金融計算一覧

金融計算の種類を選択した後、▲ ▼ キーで目的の金融計算を決定します。
本計算機で計算できる式は次の通りです。

計算の種類	種類	金利	支払い	計算項目	参照ページ
貯める	定期預金	複利		1 元利合計額	P.19 - P.20
				2 元金	
				3 利率％	
				4 月数	
	積立預金	複利		1 受取額	P.21 - P.23
				2 積立額	
				3 利率％	
				4 月数	
	外貨預金	単利		1 満期時受取額	P.24 - P.26
				2 元金	
				3 利率％	
				4 日数	
				5 預入時レート	
				6 満期時レート	
	単利計算	単利		1 元利合計額	P.27 - P.28
				2 元金	
				3 利率％	
				4 日数	
借りる	元利均等	1 固定金利 2 段階金利	月々の支払い	1 返済額	P.33 - P.38
				2 借入元金	
				3 利率％	
				4 月数	
			ボーナス併用	1 返済額	
				2 借入元金	
				3 月数	
	元金均等	固定金利	月々の返済	1 返済額	P.39 - P.42
				2 月数(元金	
			ボーナス併用	返済額（月＋ボ	
				ボーナス併用返済額	
				返済後残高	
				返済総額	
				利息総額	

計算の種類	種類	金利	支払い	計算項目	参照ページ
年賦償還	元利均等	1 固定金利 2 段階金利	月々の返済 ボーナス併用	返済額(月	P.43 - P.48
				ボーナス併用返済額(ボーナス併用返済の場合)	
				利息部分	
				元金部分	
				返済後残高	
				返済総額	
				利息総額	
繰上返済	期間短縮型	1 固定金利 2 段階金利	月々の返済 ボーナス併用返済	期間短縮回数	P.49 - P.53
				利息軽減総額	
				繰上返済後残高	
	金額軽減型	1 固定金利 2 段階金利	月々の返済 ボーナス併用返済	新返済額	P.54 - P.56
				月々返済軽減総額	
				利息軽減総額	
				繰上返済後残高	
借換	現在のローン 新規ローン	1 固定金利 2 段階金利	月々の返済 ボーナス併用返済	現在のローン残高	P.57 - P.58
				新規ローン返済額	
				新規ローン返済総額	
				返済総額の差	
				返済総額の差(諸経費込)	
換算(変換)	通貨換算			1 変換通貨	P.59
				2 取引レート	
				3 基準通貨	
	金利変換			1 実効金利	P.60
				2 表面金利	
日付＆時間	日付＆時間表示			日付	P.5
				時間	
	日数計算			1 日数	P.61 - P.62
				2 始点日	
				3 終点日	

金融計算のしかた

金融計算のしかた（はじめに）

いずれの金融計算中にも、以下のキー操作ができます。

[入力 決定]（または[▶]）：選択の決定、次の画面へ進みます。
[◀]：前の画面に戻ります。
[▲] [▼]：前画面／後画面へ移動します。
[CI/C]：誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと、表示がクリアされるので正しい数値を入力し直すことができます。また金融計算の結果を表示中に押すと金融計算を終了します。
[CA]：金融計算を終了します。（CAキーを押すまで、決定されたすべての入力値はメモリ内にストアされます。）

キー入力

金融計算中でも次のキー操作ができます。

[+]、[−]、[×]、[÷]、[%±]、[M±]、[M≡]

[=] キーを押すと基本計算の結果が表示されます。その後、[入力 決定]（または[▶]）キーを押すことで算出された計算結果を金融計算に反映することができます。

※“税込”“税抜”キーは使えません。

預金（貯める）計算【共通説明】

1. 預金（貯める）計算では各種預金での受取額や損益など次の計算ができます。
   - 定期預金
   - 積立預金
   - 外貨預金
   - 単利計算

2. ▲ ▼ キーで、受取額から源泉分離課税後の額（源泉分離課税を引いた額）を確認できます。源泉分離課税率は設定メニューより設定／変更できます。※指定のない場合は20%に設定してあります。

3. 定期預金と積立預金計算では複利計算方式をとっています。複利回数を設定メニューより、1→1年に1回（1年ごと）、2→1年に2回（6ヵ月ごと）、4→1年に4回（四半期ごと）、12→1年に12回（毎月）に設定できます。金融機関により異なりますが、ここでは2回に設定します。

※日本の金融機関は2回、もしくは1回が通常です。詳しくは金融機関にお問合せください。初期設定は12回に設定されています。

操作	表示ディスプレイ
1) CA 設定 （設定メニューを開きます）	-CONTRAST+
2) 入力 入力 入力 （3回続けて押してください。複利回数を設定する画面が表示されます）	積立 定期 1 2 4 12 回複利 12.
3) ▲ ▲ （始めて使うときは12回に設定されています。ここでは2回を選択）	積立 定期 1 2 4 12 回複利 2.
4) 入力 CA	0

4. 外貨預金、単利計算をする場合、年間日数（360日／365日）を設定します。入力画面で365を選択した後 入力 を押して決定します。

※日本は通常1年を365日で計算します。詳しくは金融機関にお問い合わせ下さい。

365日：日本、イギリス、香港
360日：アメリカ

定期預金（複利計算）

1. 定期預金計算は、満期時の受取額、および下記計算ができます。
2. [定期預金]を押した後、[▲] [▼] キーを押して、次の計算が選択できます。

1 元利合計額（受取額）
2 元金
3 利率%
4 月数

[入力 決定] または [▶] キーで決定します。

例 1：200万円を利率1.5%、複利回数2回で3年預けたとき、満期時の受取額と利息はいくらですか。

※設定メニューより、複利回数を「回数→2」に設定しておく必要があります。
※源泉分離課税率は20％に設定しています。

操作	表示ディスプレイ
1) [CA] [定期預金] （計算したい項目 **1** 元利合計額を選びます）	定期 **1** 元利合計額
2) [入力 決定] 2 00 00 00 （預金額を入力）	定期 元金? 2,000,000.
3) [入力 決定] 1.5 （利率を入力）	定期 利率%? 1.5
4) [入力 決定] 36 （満期までの月数を入力。3年＝36ヶ月） 12×3=36と入力することもできます	定期 月数? 36.
5) [入力 決定]	定期 元利合計額= 2,091,704.47021
6) [▲] （源泉分離課税後の金額が表示されます）	税引 定期 元利合計額= 2,073,363.57617
7) [入力 決定] または [▶] （利息額が表示されます）	定期 利息= 91,704.47021
8) [▲] （源泉分離課税後の利息額）	税引 定期 利息= 73,363.57617
9) [預金メモリ] [▼ 登録] [1] （入力した値、データをメモリします。 ※預金メモリ機能P29をご参照ください）	定期 **A** 元金 2,000,000

結果：2,073,363.57617円が満期時の受取額です。（源泉分離課税後の金額）

例 2：利率が1.7%で複利回数2回の場合、5年後に30,000,000円を受け取るにはいくらの預金元金が必要ですか。

※設定メニューより、複利回数を「回数→2」に設定しておく必要があります。

操作	表示ディスプレイ
1) 入 CA　定期預金　▼ （計算したい項目 2 元金を選択）	定期　2 元金
2) 入力 決定 1.7 （利率を入力）	定期　利率%?　1.7
3) 入力 決定 60 （5年＝60ヶ月 5×12=60と入力することもできます）	定期　月数?　60.
4) 入力 決定 30 00 00 00 （予定受取額を入力 ※源泉分離課税前の金額）	定期　元利合計額?　30,000,000
5) 入力 決定 （必要な預金元金が表示されます）	定期　元金=　27,565,268.636

結果：初めに、27,565,268.636円の預金元金が必要です。

例 3：利率が5.2%で複利回数2回の場合、2,000,000円の元金が2,500,00円に増えまるでどれくらいの期間がかかりますか。（源泉分離課税前の金額）

※設定メニューより、複利回数を「回数→2」に設定しておく必要があります。

操作	表示ディスプレイ
1) 入 CA　定期預金　▲ （計算する項目 4 月数を選びます）	定期　4 月数
2) 入力 決定 2 00 00 00	定期　元金?　2,000,000.
3) 入力 決定 5.2	定期　利率%?　5.2
4) 入力 決定 250 00 00 （予定受取額を入力します ※源泉分離課税前の金額）	定期　元利合計額?　2,500,000.
5) 入力 決定	定期　月数=　52.1612325772

結果：預金額を2,500,000円に増やすには53ヶ月必要です。（源泉分離課税前の金額）

積立預金（複利計算）

1. 積立預金計算は、月々一定額を預金した時の満期時の受取額および、下記計算ができます。

<u>※積立預金計算では、複利計算のみ対応しています。日本の金融機関での複利回数は通常2回です。メニュー設定より2回に設定してください。初期設定は12回に設定されています。</u>

2. [定期預金] を2回押した後、[▲] [▼] キーを押して、次の計算が選択できます。

1 受取額
2 積立額
3 利率%
4 月数

[入力 決定] または [▶] キーで決定します。

例 1：利率が0.5%で複利回数2回の場合、毎月10,000円を積立預金すると1年後の受取額はいくらですか。

※設定メニューより、複利回数を「回数→2」に設定しておく必要があります。

操作	表示ディスプレイ
1) [入 CA] [定期預金 積立預金] [定期預金 積立預金] （計算したい項目 1 受取額を選びます）	積立　1 受取額
2) [入力 決定] 1 00 00 （積立額を入力）	積立　積立額? 10,000.
3) [入力 決定] 0.5 （利率を入力）	積立　利率%? 0.5
4) [入力 決定] 12 （積立預金する月数を入力）	積立　月数? 12
5) [入力 決定]（予定受取額が表示されます ※源泉分離課税前の金額）	積立　受取額= 120,325.157986
6) [▲]（予定受取額が表示されます ※源泉分離課税後の金額）	積立 税引　受取額= 120,260.126389
7) [入力 決定] または [▶]（予定利息額が表示されます ※源泉分離課税前の金額）	積立　利息= 325.157986

8) ▼（予定利息額が表示されます
※源泉分離課税後の金額）

9) 預金メモリ 登録 2（入力した値、計算結果をメモリBに登録します）

結果：1年後に120,325.157986円（源泉分離課税前の金額）の積立額を受け取ります。

例 2：利率が0.3%で複利回数2回の場合、10年後に500,000円を受け取るには月々いくらの積立預金が必要ですか。

操作	表示ディスプレイ
1) CA 定期預金 定期預金 ▼（計算したい項目 2 積立額を選びます）	積立 2 積立額
2) 入力 決定 0.3	積立 利率%? 0.3
3) 入力 決定 120（10年×120ヶ月 12×10=120と入力することもできます）	積立 月数? 120.
4) 入力 決定 50 00 00（予定受取額を入力 ※源泉分離課税前の金額）	積立 受取額? 500,000.
5) 入力 決定（月々の積立額が表示されます）	積立 積立額= 4,104.01288348

結果：月々4,104.01288348円を積立預金すると、10年後に500,000円（源泉分離課税前の金額）の預金を受け取れます。

例 3：毎月10,000円を30年間積立預金した場合、満期時に8,000,000円受け取るにはいくらの利息が必要ですか。複利回数は2回とします。

操作	表示ディスプレイ
1) CA 定期預金 定期預金 ▼ ▼（計算したい項目 3 利率%を選びます）	積立 3 利率%
2) 入力 決定 1 00 00	積立 積立額? 10,000.
3) 入力 決定 360（30年=360ヶ月 12×30=360と入力することもできます）	積立 月数? 360.

結果：利率4.81132531944％（複利回数2回）必要です。

外貨預金（単利計算）

1. 外貨預金計算は、預入時／満期時レート［TTS／TTB］を計算し、受取額および、下記計算ができます。
※外貨定期預金（単利計算）のみ対応しています。

2. [外貨預金] を押した後、[▲] / [▼] キーを押して、次の計算が選択できます。

1 満期時受取額
2 元金
3 利率%
4 日数
5 預入時レート
6 満期時レート

[入力 決定] または [▶] キーで決定します。

3. 満期時受取額とともに損益分岐点も算出することができます。

例 1：1,000,000円を外貨預金します。預入時レート［TTS］がUS 1ドル=116円、満期時レート［TTB］はUS 1ドル=120円、利率は3.6%の場合、60日後の受取額はいくらですか？

操作	表示ディスプレイ
1) [CA 入] [外貨預金] （計算したい項目 1 満期時受領額を選びます）	外貨 1 満期時受取額 ▲▼
2) [入力 決定] 116 （預入時レート[TTS]を入力）	外貨 預入時レート? ▶ 116.
3) [入力 決定] 120 （満期時レート[TTB]を入力）	外貨 満期時レート? ◀▶ 120.
4) [入力 決定] 1 00 00 00 （預入元金を入力）	外貨 元金? ◀▶ 1,000,000.
5) [入力 決定] 3.6 （利率を入力）	外貨 利率%? ◀▶ 3.6
6) [入力 決定] 365 （年間日数を入力 ※日本は通常365日で計算）	外貨 年間日数? ◀▶ 365.
7) [入力 決定] 60 （預金する日数を入力）	外貨 日数? ◀▶ 60.

結果：60日後に 1,039,380.25508 円（源泉分離課税後の金額)を受け取り、損益分岐点は満期時レート［TTB］115.453415065になります。

例 2：預入時レート［TTS］がUS 1ドル=116円、満期時レート［TTB］はUS 1ドル=120円、利率は3.2%の場合、500,000円を外貨預金し550,000円を受け取るには、何日間預金する必要がありますか。

操作	表示ディスプレイ
1) CA 外貨預金 ▼ ▼ ▼（計算したい項目 4 日数を選びます）	外貨 4 日数
2) 入力 決定 116	外貨 預入時レート? 116.
3) 入力 決定 120	外貨 満期時レート? 120.
4) 入力 決定 50 00 00	外貨 元金? 500,000.
5) 入力 決定 3.2	外貨 利率%? 3.2
6) 入力 決定 365	外貨 年間日数? 365.
7) 入力 決定 55 00 00（予定受取額を入力 ※源泉分離課税前の金額）	外貨 満期時受取額? 550,000.
8) 入力 決定（必要な日数が表示されます）	外貨 日数? 722.395833333

9) ▶
（損益分岐点が表示されます）

外貨
損益分岐点=
110.406091371

結果：預金してから723日後、550,000円受け取れます。（源泉分離課税前の金額）

単利計算

1. [外貨預金] を2回押した後、[▼] [▲] キーを押して、受取額および、下記計算ができます。

   1 元利合計額（受取額）
   2 元金
   3 利率%
   4 日数

[入力 決定] または [▶] キーで決定します。

例 1：利率0.2%で2,000,000円を単利計算預金した場合、1年後の予定受取額はいくらですか。（1年365日）

操作	表示ディスプレイ
1) [入 CA] [外貨預金 単利計算] [外貨預金 単利計算] （計算したい項目 1 を選びます）	単利 1 元利合計額
2) [入力 決定] 2 00 00 00 （預金額を入力）	単利 元金? 2,000,000.
3) [入力 決定] 0.2 （利率を入力）	単利 利率%? 0.2
4) [入力 決定] 365（年間日数を入力 ※日本は通常365日で計算）	単利 年間日数? 365.
5) [入力 決定] 365（1年間 = 365日 ※2年間の場合、365×2=730という入力方法も使えます）	単利 日数? 365.
6) [入力 決定] （予定受取額が表示されます）	単利 元利合計額= 2,004,000.
7) [▼] （予定受取額が表示されます ※源泉分離課税後の金額）	単利 税引 元利合計額= 2,003,200.
8) [▶] （利息が表示されます）	単利 利息= 4,000.
9) [預金メモリ] [登録] [D 4]	単利 D 元金 2,000,000.

結果：365日後、2,003,200円（源泉分離利課税後の金額)を受け取れます。

例 2：5,000,000円を単利計算預金し、200日後に5,010,000 円（源泉分離課税前の金額）受け取るには何％の利率が必要ですか。

操作	表示ディスプレイ
1) CA 外貨預金/単利計算 外貨預金/単利計算 ▼ ▼ （計算したい項目 3 利率を選びます）	単利 3 利率%
2) 入力/決定 5 00 00 00	単利 元金? 5,000,000.
3) 入力/決定 365	単利 年間日数? 365.
4) 入力/決定 200	単利 日数? 200.
5) 入力/決定 5 0 1 00 00 （予定受取元利合計額を入力 ※源泉分離課税率を引く前の金額）	単利 元利合計額? 5,010,000.
6) 入力/決定	単利 利率%= 0.365

結果：0.365%の利率が必要です。

例 3：利率2.7％で、300日後に5,000,000円（源泉分離課税率を引く前の金額）受け取るには、預金元金はいくら必要ですか。（1年365日）

操作	表示ディスプレイ
1) CA 外貨預金/単利計算 外貨預金/単利計算 ▼	単利 2 元金
2) 入力/決定 2.7	単利 利率%? 2.7
3) 入力/決定 365	単利 年間日数? 365.
4) 入力/決定 300	単利 日数? 300.
5) 入力/決定 5 00 00 00 （予定受取元利合計額を入力 ※源泉分離課税率を引く前の金額）	単利 元利合計額? 5,000,000.
6) 入力/決定	単利 元金= 4,891,450.0134

結果：4,891,450.0134円の預金元金が必要です。

預金メモリ機能

1. メモリ機能は入力した値、計算結果だけではなく、メモリA～Eの総計を計算することができます。

- [預金メモリ] [登録] 入力した値、計算結果をA～Eにメモリします。
- [預金メモリ] [呼出] – A～Eまでのデータを呼び出します。
- [預金メモリ] [削除] – A～Eまでのデータを削除します。
- [預金メモリ] [総計] – A～Eまでのデータを総計します。

2. A～Eまで最大5つの預金データを登録できます。

3. メモリ機能を使いたいときは、[預金メモリ] を押し、[登録] / [呼出] / [削除] / [総計] の項目を選択した後A～Eを押します。

4. [預金メモリ]を押すと右上に S アイコンが表示されます。

5. メモリ機能は、設定メニューでは使えません。

例 1 : 定期預金のデータをメモリAに登録します。

操作	表示ディスプレイ
1) [CA] [定期預金] (登録したい計算項目 1 元利合計額を選びます)	定期 1 元利合計額
2) [入力 決定] 2 00 00 00	定期 元金? 2,000,000.
3) [入力 決定] 1.5	定期 利率%? 1.5
4) [入力 決定] 36	定期 月数? 36.
5) [入力 決定] (予定受取額が表示されます)	定期 元利合計額= 2,091,704.47021
6) [預金メモリ] [登録] (メモリ登録します)	定期 元利合計額= S 2,091,704.47021

※表示画面に表示された結果だけを、メモリA～Eに登録できます。

例 2：メモリAを呼び出します。(初めに [CA] を押してください)

操作	表示ディスプレイ
1) [CA] [預金メモリ] [呼出▲]	S 0.
2) [1] (呼び出したいメモリ [1] を選びます)	定期 A 元金 2,000,000.
3) [入力 決定] (登録したデータが表示されます)	定期 A 利率% 1.5
4) [入力 決定] (項目が切り替わります)	定期 A 月数 36.
5) [入力 決定]	定期 A 元利合計額 2,091,704.47021
6) [▲] または [▼]	税引 定期 A 元利合計額= 2,073,363.57617
7) [入力 決定]	定期 A 利息= 91,704.47021
8) [▼]	税引 定期 A 利息= 73,363.57617

※通常計算モードおよび金融計算モードでメモリA～Eを呼び出せます。(ただし、メモリA呼び出し中に、メモリBを呼び出したりなど他のメモリは呼び出せません。[CA] を押してください。) メモリ呼び出し中において、現在呼び出し中のモードで数値変更して再計算することができます。

例 3：預金元金と予定受取額それぞれの総計を計算します。（初めに CA を押してください）

総計を計算する前に、各預金データをA～Dメモリに登録します。

預金メモリ	預金項目	預入元金(円)	利率	期間		予定受取額
A	定期預金	2,000,000	1.5%	36ヶ月	=	2,091,704.
B	積立預金	10,000（月々）	0.5%	12ヶ月	=	120,325.15
C	外貨預金	1,000,000	3.6%	60日	=	1,040,604.
D	単利計算	2,000,000	0.2%	365日	=	2,004,000.

※外貨預金：預入時レート［TTS］116、満期時レート［TTB］120、年間日数365日
※定期預金／積立預金：複利回数2回
※単利計算：年間日数365日

結果：元金の総額は5,120,000円、元利合計の総額（源泉分離課税前の金額）は5,256,634.25739円になります。

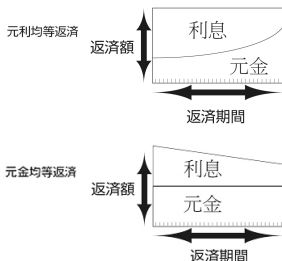
※預金元金と予定受取額それぞれの総計は、金融計算モード中でも表示できます。

例 4：メモリAを削除します。（初めに CA を押してください）

操作	表示ディスプレイ
1) CA 預金メモリ 削除 1(A)	削除メモリ A
通常計算モードに戻ります。	0.

※金融計算モード中は、メモリA～Eを削除できません。

ローン（借りる）計算【共通説明】

1. ローンには主に2種類の返済計算方法があります。
・ [ローン 元利均等] – 利息部分と元金の合計額が、月々の返済において均等。
・ [ローン 元金均等] – 元金部分は、月々の返済が均等。利息部分は元金残高により算出。

2. 元利均等ローンには次の2通りの利息計算方法があります。
・固定金利 (固定→ 1) – ローン返済期間中の利息が変わらないものです。
・段階金利 (段階→ 2) – 2段階で利息が変わるものです。利息の切り換え時は「設定メニュー」より設定／変更できます。(初期設定は10年に設定してあります)

3. 元金均等ローンには固定金利のみ対応しています。

4. 元利均等ローン、元金均等ローン計算は次のキーを押して選択します。
・ 月々の返済 – [CA 入] [ローン 元利均等] もしくは [CA 入] [ローン 元金均等]
・ ボーナス併用 – [CA 入] [ローン 元利均等] [ローン 元利均等] もしくは [CA 入] [ローン 元金均等] [ローン 元金均等]

5. ボーナス併用 – ボーナスを年2回として、ローン期間におけるボーナス回数を入力します。仮にローン期間が5年（60ヶ月）とすると、ボーナス回数は10回になります。

6. 元金均等ローンは月々の返済額が変化することから、設定メニューでボーナス返済月を設定する必要があります。

1-7 → 1月と7月
2-8 → 2月と8月
3-9 → 3月と9月
4-10 → 4月と10月
5-11 → 5月と11月
6-12 → 6月と12月

7. ボーナス併用返済の場合は、次の値を入力します。
・借入元金(月 – 借入元金のうち、月々の返済分を入力
・借入元金(ボ – 借入元金のうち、ボーナス返済分を入力

ローン元利均等 (固定金利)

1. 月々の返済 − [入 CA] [ローン 元利均等]

2. ボーナス併用 − [入 CA] [ローン 元利均等] [ローン 元利均等]

3. 固定→1、段階→2 画面で1を選び、固定金利に設定します。

4. 月々の返済では、返済総額および、利息の他に [▼] [▲] キーを押して、次の計算が選択できます。
   1 返済額 (月々)
   2 借入元金
   3 利率%
   4 月数

[入力 決定] または [▶] キーで決定します。

5. ボーナス併用返済では、返済総額および、利息の他に [▼] [▲] キーを押して、次の計算が選択できます。
   1 返済額 (月々、ボーナス月)
   2 借入元金 (ボーナス額も表示されます)
   3 月数

[入力 決定] または [▶] キーで決定します。

例 1：次の条件で10,000,000円借り入れた場合、月々の返済額（ボーナス併用なし）はいくらになりますか。
・元利均等
・固定金利3.4%
・20年ローン

操作	表示ディスプレイ
1) [入 CA] [ローン 元利均等] 1 (月々の返済のみ、および固定金利を選択します)	ローン 月々 固定->1　段階->2 ▸ 1.
2) [入力 決定] (計算したい項目 1 返済額を選びます)	ローン 月々 1 返済額 ♦ ▸
3) [入力 決定] 10 00 00 00 (借入元金を入力)	ローン 月々 借入元金(月? ▸ 10,000,000.
4) [入力 決定] 3.4 (利率を入力)	ローン 月々 利率%? ◂▸ 3.4

操作	表示ディスプレイ
5) [入力 決定] 240 (20年=240ヶ月 12×20=240と入力することもできます)	ローン 月々 月数? 240.
6) [入力 決定]	ローン 月々 返済額(月= 57,483.431239
7) [入力 決定]	ローン 月々 返済総額= 13,796,023.4974
8) [入力 決定]	ローン 月々 利息総額= 3,796,023.4974

結果：月々の返済額は 57,483.431239円、ローンの返済総額は13,796,023.4974円です。

例 2：次の条件で15,000,000円を借り入れた場合、利率と返済総額はいくらになりますか。

・元利均等
・固定金利
・月々の返済額80,000円
・30年ローン

操作	表示ディスプレイ
1) [CA] [ローン 元利均等] 1 (月々の返済のみ、および固定金利を選択します)	ローン 月々 固定->1 段階->2 1.
2) [入力 決定] [▼] [▼] (計算したい項目 3 利率を選びます)	ローン 月々 3 利率%
3) [入力 決定] 15 00 00 00	ローン 月々 借入元金(月? 15,000,000.
4) [入力 決定] 360 (30年=360ヶ月 12×30=360と入力することもできます)	ローン 月々 月数? 360.
5) [入力 決定] 80 000 (月々の返済額を入力)	ローン 月々 返済額(月? 80,000.
6) [入力 決定]	ローン 月々 利率%= 4.94283418707
7) [入力 決定]	ローン 月々 返済総額= 28,800,000.

8) [入力 決定]

ローン 月々	利息総額= 13,800,000.

結果：利率は4.94283418707%、返済総額は28,800,000円になります。

例 3：次の条件で15,000,000円（月々の返済分：10,000,000円、ボーナス返済分：5,000,000円）借り入れた場合、月々の返済額はいくらになりますか。

・元利均等
・固定金利 3.15%
・20年ローン
※20年間のボーナス回数は40回

操作	表示ディスプレイ
1) [入 CA] [ローン 元利均等] [ローン 元利均等] 1 （ボーナス併用返済および、固定金利を選択します）	ローン ボーナス併用　固定->1　段階->2　1.
2) [入力 決定] （計算したい項目 1 返済額を選びます）	ローン ボーナス併用　1 返済額
3) [入力 決定] 10 00 00 00 （借入元金のうち、月々の返済分を入力）	ローン ボーナス併用　借入元金(月?　10,000,000.
4) [入力 決定] 5 00 00 00 （借入元金のうち、ボーナス返済分を入力）	ローン ボーナス併用　借入元金(ボ?　5,000,000.
5) [入力 決定] 3.15 （利率を入力）	ローン ボーナス併用　利率%?　3.15
6) [入力 決定] 240 （20年=240ヶ月 12×20=240と入力することもできます）	ローン ボーナス併用　月数?　240.
7) [入力 決定] 40 （ボーナス回数を入力）	ローン ボーナス併用　ボーナス回数?　40.
8) [入力 決定] （月々の返済分の返済額が表示されます）	ローン 月々分　返済額(月=　56,213.6538788
9) [入力 決定] （ボーナス返済分の返済額が表示されます）	ローン ボーナス 分　返済額(ボ=　169,432.497513
10) [入力 決定]	ローン ボーナス併用　返済総額=　20,268,576.8314
11) [入力 決定]	ローン ボーナス併用　利息総額=　5,268,576.8314

結果：月々の返済額は56,213.6538788円、ボーナス併用返済月の返済額は169,432.497513円です。

例 4：次の条件で20,000,000円（月々の返済分：15,000,000円、ボーナス返済分：5,000,000円)借入れた場合、返済完了まで何ヶ月かかりますか。

・元利均等
・固定金利3.15%
・月々の返済額84,320円
・ボーナス返済額169,432円

操作	表示ディスプレイ
1) [CA] [ローン 元利均等] [ローン 元利均等] 1 （ボーナス併用および、固定金利を選択します）	ローン ボーナス併用 固定->1 段階->2 1.
2) [入力 決定] [▲] （計算したい項目 3 月数を選びます）	ローン ボーナス併用 3月数
3) [入力 決定] 15 00 00 00 （借入元金のうち月々の返済分を入力）	ローン ボーナス併用 借入元金(月? 15,000,000.
4) [入力 決定] 5 00 00 00 （借入元金のうちボーナス返済分を入力）	ローン ボーナス併用 借入元金(ボ? 5,000,000.
5) [入力 決定] 3.15	ローン ボーナス併用 利率%? 3.15
6) [入力 決定] 84320	ローン 月々分 返済額(月? 84,320.
7) [入力 決定] 169432	ローン ボーナス 返済額(ボ? 169,432.
8) [入力 決定] （返済に必要な月数が表示されます）	ローン ボーナス併用 月数= 240.001905575
9) [入力 決定] （返済完了までのボーナス回数が表示されます）	ローン ボーナス併用 ボーナス回数= 40.0001631752
10) [入力 決定]	ローン ボーナス併用 返済総額= 27,014,268.3252
11) [入力 決定]	ローン ボーナス併用 利息総額= 7,014,268.3252

結果：返済完了まで240ヶ月かかり、ボーナス併用返済月は40ヶ月あります。

ローン元利均等（段階金利）

1. 月々の返済 − 入 CA ローン元利均等
2. ボーナス併用 − 入 CA ローン元利均等 ローン元利均等
3. 固定→1、段階→2 画面で2を選び、段階金利に設定します。
4. 月々の返済では、返済総額および、利息の他に ▼ ▲ キーを押して、次の計算が選択できます。
   1 返済額（月々）
   2 借入元金
   3 利率%
   4 月数

入力 決定 または ▶ キーで決定します。

5. ボーナス併用では、返済総額および、利息の他に ▼ ▲ キーを押して、次の計算が選択できます。
   1 返済額（月々、ボーナス月）
   2 借入元金
   3 月数

入力 決定 または ▶ キーで決定します。

6. 設定メニューで、利率の切り換え時期を設定／変更できます。（初期設定は10年に設定してあります）

例 1：次の条件で28,000,000円借り入れた場合、最初10年間の月々の返済額はいくらですか。また11年目以降からの月々の返済額はいくらですか。

・元利均等
・段階金利
・30年ローン
・最初10年の利息が2.5%、その後は3.8%

操作	表示ディスプレイ
1) 入 CA ローン元利均等 2 （月々の返済のみ、および段階金利を選択します）	ローン 段階 月々 固定->1 段階->2 ▸ 2.
2) 入力 決定 （計算したい項目 1 返済額を選びます）	ローン 段階 月々 1 返済額 ▴▾ ▸
2) 入力 決定 28 00 00 00 （借入元金を入力）	ローン 段階 月々 借入元金(月? ▸ 28,000,000.
3) 入力 決定 2.5 （最初10年の利率を入力）	ローン 段階 月々 利率%? ~10 年目 ◂▸ 2.5
4) 入力 決定 3.8 （11年目からの利率を入力）	ローン 段階 月々 利率%? 11~ 年目 ◂▸ 3.8

入力 決定 を押すごとに、次の値が表示されます。
・返済額(月　11~
・返済総額
・利息総額

結果：最初10年の毎月の支払い額は110,633.851669円、11年目以降の返済額は124,327.986996円です。

例 2：次の条件で28,000,000円借りた場合、支払い完了まで何ヶ月かかりますか。
・元利均等
・最初10年の利息が2.5%、その後は3.8%
・最初の10年の、月々の返済額115,000円

操作	表示ディスプレイ
1) 入 CA ローン 元利均等 2 (月々の返済のみ、および段階金利を選択します)	ローン 月々 固定->1　段階->2 2.
2) 入力 決定 ▲ (計算したい項目 4 月数を選びます)	ローン 段階 月々 4 月数
2) 入力 決定 28 00 00 00	ローン 段階 月々 借入元金(月? 28,000,000.
3) 入力 決定 2.5	ローン 段階 月々 利率%? ~10 年目 2.5
4) 入力 決定 3.8	ローン 段階 月々 利率%? 11~ 年目 3.8
4) 入力 決定 11 50 00	ローン 段階 月々 返済額(月= ~10 年目 115,000.
6) 入力 決定	ローン 段階 月々 月数= 340.071820636

入力 決定 を押すごとに、次の値が表示されます。
・返済額(月　11~
・返済総額
・利息総額

結果：返済完了まで340ヶ月かかります。

ローン元金均等 (固定金利)

※ローン元金均等では固定金利のみ計算できます。

1. 月々の返済 – [入 CA] [ローン元金均等]

2. ボーナス併用 – [入 CA] [ローン元金均等] [ローン元金均等]

3. 月々の返済では、返済額および利息の他に次の計算ができます。
   1 返済額(任意の返済回数月における返済額およびその時点での残高)
   2 月数(元金)

4. ボーナス併用返済の場合は、返済総額、利息の他に任意の月、もしくは任意の返済回数月時点における返済額およびその時点での返済残高を計算できます。

5. 元金均等ローンでは月々によって返済額が異なるので、返済額を計算したい年月(算出年月?) もしくは回数 (何回目の返済?) を入力します。設定メニューより年月か回数かを選択します。

年月 (年月→1)「初回支払年月?」と「算出年月?」を入力、もしくは回数 (回数→2)「何回目の返済?」を入力。

6. 元金均等ローンは月々の返済額が変化することから、設定メニューでボーナス返済月を設定する必要があります。
   1-7 → 1月と7月 (初期設定)
   2-8 → 2月と8月
   3-9 → 3月と9月
   4-10 → 4月と10月
   5-11 → 5月と11月
   6-12 → 6月と12月

7. “初回ボーナスまで”の月数を入力します。

ボーナス返済は6ヶ月毎ですが、初回の返済は借入れてから1〜6ヶ月のいずれかに返済することになります。期間が短いほど返済の利子分が減少します。例えば初回の返済が2008年1月、初回ボーナスが1月の場合は“1”、初回ボーナスが3月の場合は“3”を入力します。

例 1：次の条件で18,000,000円借り入れた場合、2018年6月の返済額はいくらですか。また返済残高はいくらですか。

・元金均等
・固定金利2.5%
・30年ローン
・初回返済2008年6月
・ボーナス併用なし（月々の返済のみ）

※設定メニューより、年月もしくは回数を選択できます。この場合は「年月→1」に設定します。

操作	表示ディスプレイ
1) [入 CA] [ローン 元金均等] （計算したい項目 1 返済額を選びます）	ローン 元金 月々 1 返済額
2) [入力 決定] 18 00 00 00 （借入元金を入力）	ローン 元金 月々 借入元金(月? 18,000,000.
3) [入力 決定] 2.5 （利率を入力）	ローン 元金 月々 利率%? 2.5
4) [入力 決定] 360 （30年=360ヶ月 12×30=360と入力することもできます）	ローン 元金 月々 月数? 360.
5) [入力 決定] 2008 06 （初回返済年月を入力）	ローン 元金 月々 初回支払年月? 2008-06.
6) [入力 決定] 2018 06 （算出する年月を入力）	ローン 元金 月々 算出年月? 2018-06.
7) [入力 決定]	ローン 元金 月々 返済額(月= 75,000
8) [入力 決定]	ローン 元金 月々 返済後残高= 11,950,000.

[入力 決定]を押すごとに、次の値が表示されます。

・返済総額
・利息総額

結果：2018年6月の返済額は75,000円、返済後の残高は11,950,000円です。

例 2：次の条件で25,000,000円（月々の返済額分：20,000,000円、ボーナス返済分：5,000,000円)を借入れた場合、73回目の返済額はいくらですか。初回返済月から、初回ボーナスまでの月数は1とします。

・元金均等
・固定金利3.5%
・30年ローン
・ボーナス併用

※設定メニューより年月もしくは回数を設定できます。この場合は「回数→2」に設定します。

操作	表示ディスプレイ
1) [入 CA] [ローン 元金均等] [ローン 元金均等] 20 00 00 00（借入元金のうち、月々の返済分を入力）	ローン 元金 ボーナス併用 借入元金(月? 20,000,000.
2) [入力 決定] 5 00 00 00（借入元金のうち、ボーナス返済分を入力）	ローン 元金 ボーナス併用 借入元金(ボ? 5,000,000.
3) [入力 決定] 3.5	ローン 元金 ボーナス併用 利率%? 3.5
4) [入力 決定] 360（30年=360ヶ月 12×30=360と入力することもできます）	ローン 元金 ボーナス併用 月数? 360.
5) [入力 決定] 73（算出したい時点の回数を入力）	ローン 元金 ボーナス併用 何回目の返済? 73.
6) [入力 決定] 1（初回の返済から、ボーナス月までの月数を入力。この場合、初回返済月とボーナス月が同じ月）	ローン 元金 ボーナス併用 初回ボーナスまで? 1.
7) [入力 決定]（初回返済月とボーナス月が同じなので、73回目がボーナス月となるため月々の返済額に、ボーナス返済額を加えた金額が表示されます）	ローン 元金 ボーナス併用 返済額(月+ ボ= 255,555.555556

[入力 決定] を押すごとに、次の値が表示されます。

・返済後残高
・返済総額
・利息総額

結果：73回目の返済額は255,555.55556円です。

例 3 : 次の条件で18,000,000円借りた場合、返済完了まで何ヶ月かかりますか。

・元金均等
・固定金利2.5%
・月々の元金分返済額50,000円
・ボーナス併用なし（月々の返済のみ）

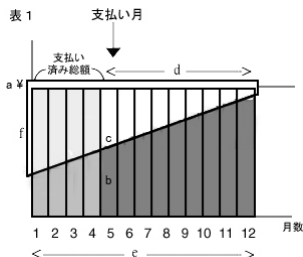
入力 決定 または ▶ を押すごとに、次の値が表示されます。

・返済総額

・利息総額

結果 : 返済完了まで360ヶ月かかります。

年賦償還計算【共通説明】

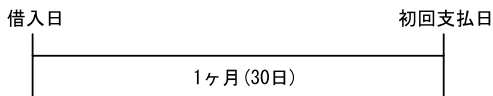
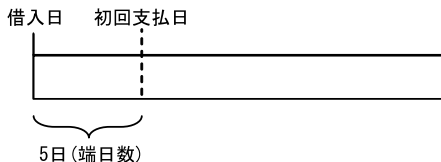
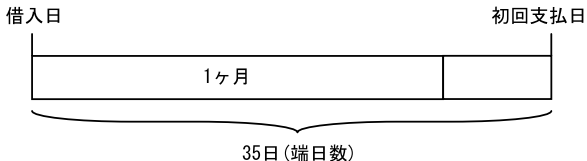
1. 年賦償還計算では、月々の返済額、利息額、元金、返済後残高、返済総額、利息総額を算出できます。年賦償還計算は元利金等になります。
   - a. 月々の返済額（b＋c）
   - b. 元金部分
   - c. 利息部分
   - d. 返済残高
   - e. 返済総額
   - f. 利息総額

2. [CA] [年賦償還] を押すと、月々の返済額を算出します。[CA] [年賦償還] [年賦償還] を押すと、ボーナス併用返済額を算出します。

   毎月の支払い額（元金／利息額部分）は上記の表のように変化します（表1）。返済額を算出したい年月（算出年月？）もしくは回数（何回目の返済？）を入力します。※「年月→1」または、「回数→2」をあらかじめ設定する必要があります。設定のしかたはP6をご参照ください。

   「年月」に設定した場合は、初回返済年月と算出年月を入力します。「回数」に設定した場合は、何回目の返済か回数を入力します。

3. ローン借入日から初回返済日までが、1ヶ月に満たない、もしくは1ヶ月を超える場合は端日数が生じます。設定のしかたはP6をご参照ください。また、端日数についての説明は次ページをご参照ください。端日数は年賦償還、繰上返済、借換返済計算に対応しています。設定メニューより端日数を設定できます。

この計算機は1ヶ月を30日（1年を365日）として演算します。

①端日数０の場合

②端日数５の場合
（返済する利息が少なくなります。）

③端日数35日の場合
（返済する利息が多くなります。）

なお、本機は『片端入れ（借入日は数えない）』のみ対応しています。『両端入れ（借入日も数える）』に合わせるには、入力の際に1を足してください。

年賦償還 (固定金利)

例 1：30年ローン（利息3.0%）で30,000,000円を借入れました。初回の返済日は2008年10月と仮定し、以下の項目について算出します。

- 月々の返済額（ボーナス併用なし）
- 2013年の月々の返済額利息部分
- 2013年の月々の返済額元金部分
- 返済後残高

※設定メニューより年月もしくは回数を選択できます。この場合は「年月→1」に設定します。

操作	表示ディスプレイ
1) [入 CA] [年賦償還] 1 （月々の返済のみ、および固定金利を選択します）	年賦償還 月々 固定->1 段階->2 1.
2) [入力 決定] 30 00 00 00 （借入元金を入力）	年賦償還 月々 借入元金(月? 30,000,000.
3) [入力 決定] 3.0 （利率を入力）	年賦償還 月々 利率%? 3.0
4) [入力 決定] 360 （30年=360ヶ月 12×30=360と入力することもできます）	年賦償還 月々 月数? 360.
5) [入力 決定] 200810 （初回の返済年月を入力）	年賦償還 月々 初回支払年月? 2008-10.
6) [入力 決定] 201310 （算出したい年月を入力）	年賦償還 月々 算出年月? 2013-10.
7) [入力 決定] （月々の返済額が表示されます）	年賦償還 月々 返済額(月= 126,481.210119
8) [入力 決定] （月々の返済額の利息部分が表示されます）	年賦償還 月々 利息部分= 66,679.77251
9) [入力 決定] （月々の返済額の元金部分が表示されます）	年賦償還 月々 元金部分= 59,801.437609
10) [入力 決定] （返済後残高が表示されます）	年賦償還 月々 返済後残高= 26,612,107.5664

[入力 決定] または [▶] を押すごとに、次の値が表示されます。
- 返済総額
- 利息総額

結果 : 2013年10月の月々の返済額は、 126,481.210119円、そのうち利息部分は66,679.77251円、元金部分は59,801.437609円です。返済後残高は26,612,107.5664円です。

年賦償還（段階金利）

例 1：2009年1月より30年ローンで、20,000,000円（月々の支払い分：15,000,000円、ボーナス返済分：5,000,000円）借入れた場合、以下の項目について算出します。利率は初めの10年が2.5%、その後は4.0%の段階金利とします。

- 月々の返済額
- 2021年6月の返済額元金部分
- 返済後残高

※設定メニューより年月もしくは回数かを設定できます。この場合は「年月→1」に設定します。ボーナス返済月は「1-7」に設定します。

操作	表示ディスプレイ
1) [CA] [年賦償還] [年賦償還] 2 （ボーナス併用、および段階金利を選択します）	年賦償還 ボーナス併用 固定->1 段階->2 2.
2) [入力 決定] 15000000 （借入元金のうち月々の返済分を入力）	年賦償還 段階 ボーナス併用 借入元金(月? 15,000,000.
3) [入力 決定] 5000000 （借入元金のうちボーナス返済分を入力）	年賦償還 段階 ボーナス併用 借入元金(ボ? 5,000,000.
4) [入力 決定] 2.5 （最初の10年の利率を入力）	年賦償還 段階 ボーナス併用 利率%? ~10 年目 2.5
5) [入力 決定] 4 （11年目からの利率を入力）	年賦償還 段階 ボーナス併用 利率%? 11~ 年目 4
6) [入力 決定] 360 （30年=360ヶ月 12×30=360と入力することもできます）	年賦償還 段階 ボーナス併用 月数? 360
7) [入力 決定] 200901 （算出したい時点の年月を入力）	年賦償還 段階 ボーナス併用 初回支払年月? 2009-01
8) [入力 決定] 202106	年賦償還 段階 ボーナス併用 算出年月? 2021-06
9) [入力 決定] （2021年6月はボーナス併用返済月ではないため、月々の返済額のみ表示されます）	年賦償還 段階 ボーナス併用 返済額(月= 67,777.1801759
10) [入力 決定]	年賦償還 段階 ボーナス併用 利息部分= 34,192.7741401

11) 入力 決定

年賦償還 段階 ボーナス併用 元金部分=
33,584.4060358

12) 入力 決定

年賦償還 段階 ボーナス併用 返済後残高=
13,573,842.445

入力 決定 を押すごとに、次の値が表示されます。
- 返済総額
- 利息総額

結果：2021年6月の返済詳細は、月々の返済が67,777.1801759円、利息部分が34,192.7741401円、借入元金部分が33,584.4060358円、返済後残高は13,573,842.445円になります。

繰上返済・借換計算【共通説明】

1. 繰上返済計算では、ローンの期間短縮、金額軽減した値を算出することができます。繰上返済、借換計算は元利均等になります。
2. 借換計算は新しいローンに借り換えることで、それまでのローンとの返済金額や期間の差を算出します。
3. 月々の返済は [入 CA] [繰上返済 借換]、ボーナス併用は [入 CA] [繰上返済 借換] [繰上返済 借換] を押して選択します。
4. 固定→1、段階→2 画面で利率を決定します。
5. [▼] [▲] キーを押して、次の計算が選択できます。

   1 期間短縮型 – 返済期間を短縮します。繰上返済予定額を入力後、短縮できる期間、利息軽減額（繰上返済予定額を上まわらない、表示された回数を繰り上げるために必要な金額）、繰上返済後残高を算出できます。

   2 金額軽減型 – 返済金額を軽減します。軽減後の月々の返済金額、軽減額、利息額、軽減後残高を算出できます。

   3 借換計算 – 新しい月々の返済額、旧返済総額、新返済総額の差を算出できます。

6. 借換計算、ボーナス併用では経過利息が算出されます。借換前の最後に支払うボーナス併用返済月と、借換をする月との間隔に利息が発生します。

例：　算出年月? 2008-12（借換をする年月） 　　　ボーナス返済月? 1-7 したがって、5か月分の経過利息が発生します。

繰上返済（期間短縮型）

1. 固定金利または段階金利を選択した後、▲ ▼ キーで 1 期間短縮型を選択します。

例 1：（固定金利で、月々の返済のみ）
2008年11月に30年ローン（金利2.5%）で30,000,000円を借入れ、2018年の11月に2,000,000円を繰上返済した場合の、次の項目について算出します。

- 短縮される返済回数
- 実際の繰上返済額
- 軽減できる総利息額
- 繰上返済後の残高

※設定メニューより年月もしくは回数を選択できます。この場合は「年月→1」に設定します。

操作	表示ディスプレイ
1) CA 繰上返済/借換 1 （月々の返済のみ、および固定金利を選択します）	固定->1　段階->2 1.
2) 入力/決定 （計算したい項目 1 期間短縮型を選びます）	1 期間短縮型
3) 入力/決定 30 00 00 00 （借入元金を入力）	借入元金(月? 30,000,000.
4) 入力/決定 2.5 （利率を入力）	利率%? 2.5
5) 入力/決定 360 （30年=360ヶ月 12×30=360と入力することもできます）	月数? 360.
6) 入力/決定 200811 （初回返済年月を入力）	初回支払年月? 2008-11.
7) 入力/決定 201811 （繰上返済をする年月を入力）	算出年月? 2018-11.
8) 入力/決定 （繰上返済する前の残高が表示されます）	算出前残高= 22,369,432.4383
9) 入力/決定 2 00 00 00 （繰上返済する予定金額を入力）	繰)返済予定額？ 2,000,000.

10) 入力 決定
(短縮される返済回数と、実際の繰上返済額が表示されます。▲ ▼を押すと、短縮できる期間と繰上返済金額が、次々と表示されます)

繰上返済 月々 繰上返済額 27 回
1,995,724.66169

11) 入力 決定
(利息軽減額が表示されます)

繰上返済 月々 利息軽減総額=
1,204,754.61874

12) 入力 決定
(繰上返済後の残高が表示されます)

繰上返済 月々 繰)返済後残高=
20,373,707.7766

結果：2018年11月に2,000,000円の繰上返済を想定した場合、27ヶ月の返済期間が短縮されます。27ヶ月の期間短縮に実際に必要な金額は1,995,724.66169円（27ヶ月の短縮返済に、切り良く繰り上げるために必要な金額）、総額1,204,754.61874円の利息が軽減されます。

例 2:（段階金利でボーナス併用返済）
2008年11月に30年ローンで30,000,000円（月々の返済分：25,000,000円、ボーナス返済分：5,000,000円）借入れました。金利は最初の10年が2.5%、その後は4.5%です。ボーナス返済は1月と7月に想定します。241回目の返済に2,000,000円を繰上返済した場合の、次の項目について算出してください。

- 短縮される返済回数
- 実際の繰上返済額
- 軽減できる総利息額
- 繰上返済後の残高

※設定メニューより年月もしくは回数を選択できます。この場合は「回数→2」に設定します。

操作	表示ディスプレイ
1) 入 CA 繰上返済 借換 繰上返済 借換 2 (ボーナス併用、および段階金利を選択します)	繰上返済 ボーナス併用 固定->1 段階->2 2.
2) 入力 決定 (計算したい項目 1 期間短縮型を選びます)	繰上返済 ボーナス併用 段階 1 期間短縮型
3) 入力 決定 25 00 00 00 (借入元金のうち月々の返済分を入力)	繰上返済 ボーナス併用 段階 借入元金(月? 25,000,000.
4) 入力 決定 5 00 00 00 (借入元金のうちボーナス返済分を入力)	繰上返済 ボーナス併用 段階 借入元金(ボ? 5,000,000.

5) 入力 決定 2.5
（最初の10年の利率を入力）

繰上返済 ボーナス併用 段階 利率%? ~10 年目 2.5

6) 入力 決定 4.5
（11年目からの利率を入力）

繰上返済 ボーナス併用 段階 利率%? 11~ 年目 4.5

7) 入力 決定 360
（30年=360ヶ月
12×30=360と入力することもできます）

繰上返済 ボーナス併用 段階 月数? 360.

8) 入力 決定 241

繰上返済 ボーナス併用 段階 何回目の返済? 241.

9) 入力 決定 3
（初回の月々の返済を11月、ボーナス返済は1月とする場合、初回ボーナスまでの月数は3となります）

繰上返済 ボーナス併用 段階 初回ボーナスまで? 3.

10) 入力 決定
（繰上返済する前の残高が表示されます）

繰上返済 ボーナス併用 段階 算出前残高= 13,625,278.7359

11) 入力 決定 2 00 00 00
（繰上返済する予定金額を入力）

繰上返済 ボーナス併用 段階 繰)返済予定額? 2,000,000.

12) 入力 決定
（短縮される返済回数と、実際の繰上返済額が表示されます）

繰上返済 ボーナス併用 段階 繰上返済額 20 回 1,836,673.17968

13) 入力 決定
（繰上返済総額のうち、月々返済分の返済総額が表示されます）

繰上返済 段階 月々分 繰上返済額(月= 1,560,068.82162

14) 入力 決定
（繰上返済総額のうち、ボーナス返済分の返済総額が表示されます）

繰上返済 ボーナス 段階 分 繰上返済額(ボ= 276,604.358063

15) 入力 決定
（利息軽減額が表示されます）

繰上返済 ボーナス併用 段階 利息軽減総額= 940,958.651169

16) 入力 決定
（繰上返済後の残高が表示されます）

繰上返済 ボーナス併用 段階 繰)返済後残高= 11,788,605.5562

続いて支払い回数を22回短縮したい場合の、次の項目について算出してください。

- 実際の繰上返済額
- 軽減できる総利息額
- 繰上返済直後の残高

17) ◀ ◀ ◀ ◀

（◀ キーでディスプレイを、「短縮される支払い回数と、実際の繰上返済額」12)まで戻します）

繰上返済 ボーナス併用 段階 繰上返済額 20 回
1,836,673.17968

18) ▲ ▲

（▲ キーを2回押すと、返済回数を22回短縮した場合に必要な、繰上返済額が表示されます）

繰上返済 ボーナス併用 段階 繰上返済額 22 回
2,095,581.09069

19) 入力 決定

（繰上返済総額のうち、月々返済分返済総額が表示されます）

繰上返済 段階 月々分 繰上返済額(月=
1,722,595.44403

20) 入力 決定

（繰上返済総額のうち、ボーナス返済分返済総額が表示されます）

繰上返済 ボーナス 段階 分 繰上返済額(ボ=
372,985.646659

21) 入力 決定

繰上返済 ボーナス併用 段階 利息軽減総額=
1,057,525.14758

22) 入力 決定

繰上返済 ボーナス併用 段階 繰)返済後残高=
11,529,697.6452

結果：支払いを22回短縮するためには、2,095,581.09069円の繰上返済額が必要です。1,057,525.14758円の利息総額が軽減されます。

繰上返済（金額軽減型）

1. 固定金利または段階金利を選択した後、▲ ▼ を押して 2 金額軽減型を選択します。
2. 金額軽減型は、繰上予定返済額が、月々の返済分とボーナス返済分に別れて表示されます。

例 1：（固定金利、月々の返済のみ）
2008年11月に30年ローン（金利2.5%）で30,000,000円を借入れ、2018年11月に2,000,000円を繰上返済した場合の、次の項目について算出してください。

- 繰上返済後の月々の返済額
- 軽減できる月々の返済額
- 軽減できる総利息額
- 繰上返済後の残高

※設定メニューより年月もしくは回数を設定できます。この場合は「年月→1」に設定します。

操作	表示ディスプレイ
1) CA 繰上返済/借換 1 （月々の返済のみ、および固定金利を選択します）	繰上返済 月々 固定->1 段階->2 1.
2) 入力 決定 ▼ （計算したい項目 2 金額軽減型を選びます）	繰上返済 月々 2 金額軽減型
3) 入力 決定 30 00 00 00 （借入元金を入力）	繰上返済 月々 借入元金(月? 30,000,000.
4) 入力 決定 2.5 （利率を入力）	繰上返済 月々 利率%? 2.5
5) 入力 決定 360 （30年=360ヶ月 12×30=360と入力することもできます）	繰上返済 月々 月数? 360.
6) 入力 決定 200811 （初回返済年月を入力）	繰上返済 月々 初回支払年月? 2008-11.
7) 入力 決定 201811 （繰上返済する年月を入力）	繰上返済 月々 算出年月? 2018-11.
8) 入力 決定 （繰上返済する前の残返済総額が表示されます）	繰上返済 月々 算出前残高= 22,369,432.4383

操作	表示ディスプレイ
9) [入力 決定] 2 00 00 00 （繰上返済する予定金額を入力）	繰上返済 月々 繰)返済予定額？ 2,000,000.
10) [入力 決定] （繰上返済後の月々の返済額が表示されます）	繰上返済 月々 新返済額(月= 107,938.211785
11) [入力 決定] （月々に軽減される返済額が表示されます）	繰上返済 月々 軽減額(月= 10,598.05786
12) [入力 決定]	繰上返済 月々 利息軽減総額= 543,533.886555
13) [入力 決定]	繰上返済 月々 繰)返済後残高= 20,369,432.4383

結果：2018年11月に2,000,000円の繰上返済をした場合、返済後の新たな月々の返済額は107,938.211785円となり、月々10,598.05786円の返済額を軽減できます。また、総額543,533.886555円の利息を軽減、返済後残高は20,369,432.4383円です。

例 2：（段階金利、ボーナス併用返済）
2008年11月に30年ローンで30,000,000円（借入元金のうち、月々の返済分：25,000,000円、借入元金のうち、ボーナス返済分：5,000,000円）を借入れます。
96回目の返済に、月々の返済分1,600,000円とボーナス返済分300,000を繰上返済した場合について算出してください。金利は最初の10年が2.5%、その後は4.5%とします。

※設定メニューより年月／回数を設定できます。この場合は「回数→2」に設定します。

操作	表示ディスプレイ
1) [CA (入)] [繰上返済 借換] [繰上返済 借換] 2 （ボーナス併用、および段階金利を選択します）	繰上返済 ボーナス併用 固定->1 段階->2 2.
2) [入力 決定] [▼] （計算したい項目 2 金額軽減型を選びます）	繰上返済 ボーナス併用 段階 2 金額軽減型
3) [入力 決定] 25 00 00 00 （借入元金のうち月々の返済分を入力）	繰上返済 ボーナス併用 段階 借入元金(月? 25,000,000.
4) [入力 決定] 5 00 00 00 （借入元金のうちボーナス返済分を入力）	繰上返済 ボーナス併用 段階 借入元金(ボ? 5,000,000.

操作	表示
5) 入力 決定 2.5 (最初の10年の利率を入力)	繰上返済 ボーナス併用 段階 利率%? ~10 年目 2.5
6) 入力 決定 4.5 (11年目からの利率を入力)	繰上返済 ボーナス併用 段階 利率%? 11~ 年目 4.5
7) 入力 決定 360 (30年=360ヶ月 12×30=360と入力することもできます)	繰上返済 ボーナス併用 段階 月数? 360.
8) 入力 決定 96 (繰上返済する時点の回数を入力)	繰上返済 ボーナス併用 段階 何回目の返済? 年目 96
9) 入力 決定 3 (初回の月々の返済を11月、ボーナス返済を1月とする場合、初回ボーナスまでの月数は3ヶ月となります)	繰上返済 ボーナス併用 段階 初回ボーナスまで? 3.
10) 入力 決定	繰上返済 ボーナス併用 段階 算出前残高= 24,082,216.9783
11) 入力 決定 16 00 00 0 (繰上返済するうちの月々の返済分を入力)	繰上返済 ボーナス併用 段階 繰)返済予定額？ 1,600,000.
12) 入力 決定 3 00 00 0 (繰上返済するうちのボーナス返済分を入力)	繰上返済 ボーナス併用 段階 繰)ボーナス額？ 300,000.
13) 入力 決定 (10年目までの月々返済分の新返済額が表示されます)	繰上返済 段階 月々分 新返済額(月=~10 年目 90,917.1091358
14) 入力 決定 (10年目までの月々返済分の軽減額が表示されます)	繰上返済 段階 月々分 軽減額(月= ~10 年目 7,863.1155686
15) 入力 決定 (10年目までのボーナス返済分の新返済額が表示されます)	繰上返済 段階 ボーナス 分 新返済額(ボ=~10 年目 109,309.720971
16) 入力 決定 (10年目までのボーナス返済分の軽減額が表示されます)	繰上返済 段階 ボーナス 分 軽減額(ボ= ~10 年目 8,905.67235915

結果：入力 決定 または ▶ を押すごとに、11年目以降の値が表示されます。

借換

1. 固定金利または段階金利を選択した後、[▲] [▼] キーで 3 借換計算を選択します。

2. 借換計算するために“新規ローン”メッセージが表示されたら、画面に従ってデータを入力します。

例 1:
元々のローンを月々の返済のみ、および固定金利で2008年11月に30年ローン（金利2.5%）で30,000,000円を借入れました。2018年の11月に次の借換をします。

- 新規ローン種類 : 固定金利、ボーナス併用返済なし
- 新規ローン額 : 22,400,000円（借換前の残高を新規ローンで一括返済）
- 新規ローン金利 : 2.0%
- 新規ローン期間 : 20年
- 借換諸費用 : 550,000円

操作	表示ディスプレイ
1) [入 CA] [繰上返済 借換] 1 （月々の返済のみ、および固定金利を選択します）	繰上返済 月々 固定->1 段階->2 1.
2) [入力 決定] [▼] [▼] （計算したい項目 3 借換計算を選びます）	借換 月々 3 借換計算
3) [入力 決定] 30 00 00 00 （借入元金を入力）	借換 月々 借入元金（月? 30,000,000.
4) [入力 決定] 2.5 （利率を入力）	借換 月々 利率%? 2.5
5) [入力 決定] 360 （30年=360ヶ月 12×30=360と入力することもできます）	借換 月々 月数? 360.
6) [入力 決定] 200811 （初回支払年月を入力）	借換 月々 初回支払年月? 2008-11.
7) [入力 決定] 201811 （借換する予定の年月を入力）	借換 月々 算出年月? 2018-11.
8) [入力 決定]	借換 月々 算出前残高= 22,369,432.4383
9) [入力 決定] （2018年11月以降の利息込み残返済総額が表示されます）	借換 月々 残返済総額= 28,448,704.7149.

結果：新規ローンに借換した場合、702,416.6229円の返済額が軽減されます。

通貨換算計算

1. 通貨換算計算は、通貨換算とレートの二通りを演算します。[通貨換算] を押して計算を始めます。

2. [通貨換算] を押した後、[▼] [▲] を押して、次の計算を選択できます。
   1 変換通貨（外貨）
   2 取引レート
   3 基準通貨
   [入力 決定] または [▶] キーで決定します。

例 1 : 5,000,000円を米ドルに換算するといくらですか。
(レート1円→ USD = 0.0087)

結果 : 43,500ドルになります。

例 2 : 15,000,000円をユーロに換算すると92,702(EUR)になりました。取引レートはいくらですか。

結果 : 取引レートは 0.00618013333です。

金利変換計算

1. 複利回数、利率が違う二つの口座を比較することができます。[通貨換算 金利変換] [通貨換算 金利変換] を押して計算を始めます。

2. [▲] [▼] を押して、次の計算を選択できます。
   1 実効金利 − 表面金利から実行金利に変換します。
   2 表面金利 − 実行金利から表面金利に変換します。
   [入力 決定] または [▶] キーで決定します。

例 1：利息の高い銀行に口座を置きたい時に、利息換算計算します。どちらの銀行の実効金利が高いですか。
銀行 A : 利率2.51%、複利回数6ヶ月毎
銀行 B : 利率2.50%、複利回数毎月

銀行A

操作	表示ディスプレイ
1) [入 CA] [通貨換算 金利変換] [通貨換算 金利変換] （計算したい項目 1 実行金利を選びます）	1 実効金利
2) [入力 決定] 2.51（表面金利を入力）	表面金利? 2.51
3) [入力 決定] 2（利息回数を入力） （利息は6ヶ月毎に発生するので、1年で2回）	利息回数? 2.
4) [入力 決定]	実行金利＝ 2.52575025

銀行Aの実効金利は2.52575025

銀行B

操作	表示ディスプレイ
1) [入 CA] [通貨換算 金利変換] [通貨換算 金利変換]	1 実効金利
2) [入力 決定] 2.50	表面金利? 2.50
3) [入力 決定] 12 （利息は毎月発生するので、1年で12回）	利息回数? 12
4) [入力 決定]	実行金利＝ 2.52884569833

銀行Bの実効金利は2.52884569833
結果：銀行Bのほうが高い金利を得られます。

日数計算

1. [日数計算キー] [日数計算キー] キーを押して計算を始めます。

2. [▲] [▼] を押して、次の計算を選択できます。

   1 日数
   2 始点日
   3 終点日

   [入力 決定] または [▶] キーで決定します。

3. 日数計算は、1年を360日か365日かを選択します。

   - 360日 – 1ヶ月を30日とし、1年を数えます。
   - 365日 – 1ヶ月の実際の日数で、1年を数えます。

※うるう年は、内蔵カレンダーで自動的に計算されます。

4. [日数計算キー] キーを押し日付を表示させたときに、[M≡ 日/月/年] キーで表示（入力）方法を変更できます。

   - 年-月-日（初期設定）
   - 日-月-年
   - 月-日-年

例 1：日数計算

2008年10月15日から2009年3月1日まで何日ありますか？（1年間を365日とします）

※計算例での表示（入力）方法は月-日-年

結果：137日です。

例 2 : 2008年10月15日に90日間の定期預金を始めました。満期日はいつですか。

※計算例での表示（入力）方法は月-日-年

結果 : 満期日は2009年1月13日です。

金融計算式について

金融計算のご注意：

本機は一般的な金融計算に基づいて計算していますので、実際の受取額や、返済額とは結果が違う場合があります。目安としてご使用ください。本機の全ての金融計算は、次の式をもとに演算を行っています。実際にお取引をされる場合は、専門の金融機関にご相談ください。

定期預金

PV：定期預金の元金、I：利率(%)、MTHS：預金する月数、AMT：満期時に受け取れる金額、m：複利回数

$$AMT = PV \times \left(1 + \frac{I}{100 \times m}\right)^{\frac{MTHS \times m}{12}}$$

積立預金

PMT：月々の積立額、I：利率(%)、MTHS：預金する月数、AMT：満期時に受け取れる金額、m：複利回数

$$AMT = PMT \times \left(\frac{F^{(MTHS+1)} - F}{F - 1}\right),\quad F = \left(1 + \frac{I}{100 \times m}\right)^{\frac{m}{12}}$$

外貨預金

TTS：売価(Telegraphic transfer selling rate)預入時レート、TTB：買価(Telegraphic transfer buying rate)満期時レート、PV：基準通貨の預入元金、I：利率(%)、Day Mode：1年間の日数（365／360日)、DAYS：預金する日数、AMT：満期時に受け取れる金額、Breakeven：損益分岐点、TAX：源泉分離課税

$$AMT = \frac{PV}{TTS} \times \left(1 + \frac{I}{100} \times \frac{DAYS}{DayMode}\right) \times TTB$$

$$Breakeven = \frac{PV}{\frac{PV}{TTS} + \left(\frac{PV}{TTS} \times \frac{I}{100} \times \frac{DAYS}{DayMode}\right) \times \left(1 - \frac{TAX}{100}\right)}$$

単利計算

PV : 元金、I : 利率(%)、Day Mode : 1年間の日数 (365／360日)、DAYS : 預金する日数、AMT : 満期時に受け取れる金額

$$AMT = PV + \left(PV \times \frac{I}{100} \times \frac{DAYS}{DayMode} \right)$$

ローン

Loan AMT : 借入元金、I : 利率(%)、MTHS : 支払いする月数、PMT : 月々の支払い額

$$PMT = LoanAMT \times \frac{\frac{I}{100 \times 12}}{1 - \left(1 + \frac{I}{100 \times 12} \right)^{-MTHS}}$$

端日数 (設定メニューより設定できます。)

Loan AMT : 借入元金、I : 利率(%)、

- "端日数" = 0 (利息が発生する日から、初回の支払日がちょうど1ヶ月のとき。)

初回の利息分 (補正なし) = Loan AMT × $\left(\frac{I}{100 \times 12} \right)$

- "端日数" = 1～30 (利息が発生する日から、初回の支払日が1ヶ月よりも少ないとき。)

初回の利息額 = Loan AMT × $\left(\frac{I}{100} \right) \times \frac{端日数}{365}$

- "端日数" = 31～62 (利息が発生する日から、初回の支払日が1ヶ月よりも多いとき。)

初回の利息分(補正なし) = Loan AMT × $\left(\frac{I}{100 \times 12} \right)$ + Loan AMT × $\left(\frac{I}{100} \right) \times \frac{端日数-30}{365}$

ボーナス

- **ローン元利均等計算**

BNS : ボーナス時の返済額
Bonus AMT : ボーナス返済部分

r : 利息率 (6ヶ月) = $\frac{I}{200}$

B :ボーナス回数 (例 : 通常年2回 × 5年ローンの場合＝10回)

$$BNS = BonusAMT \times \frac{r(1+r)^B}{(1+r)^B - 1}$$

- **年賦償還、繰上返済、借換**

BNS : ボーナス時の返済額
Bonus AMT : ボーナス返済部分

r : 利息率 (6ヶ月) = $\frac{I}{200}$

B : ボーナス回数（例：通常年2回 × 60ヶ月ローンの場合＝10回）
m : 初回の返済月から、初回のボーナスまでの月数
※初回の返済月2008年3月から、初回のボーナス月2008年7月までは、5ヶ月間

$$BNS = BonusAMT \times \frac{r(1+\frac{m}{6}r)(1+r)^{B-1}}{(1+r)^{B}-1}$$

- **経過利息**

繰上返済／借換（ボーナス併用返済計算）
借換前の最後に支払うボーナス併用支払い月と、借換をする月の間隔に発生する利息

d : 繰上返済／借換前最後のボーナス支払い月～借換までの月数

e. g. 算出年月? 2008-12,
　　ボーナス支払月? 1-7
算出年月?（繰上返済／借換をする年月）が、2008年12月、ボーナス支払月?は11月と7月の場合、5か月分の経過利息が発生します。

経過利息 = 繰上返済／借換（ボーナス併用返済額）$\times \frac{I}{1200} \times d$

利息率換算計算

EFF% : 実効金利、NOM% : 表面金利、N : 複利回数

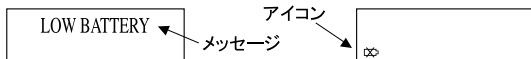
$$EFF = \left[\left(1+\frac{NOM}{100\times N}\right)^{N} - 1\right]\times 100$$

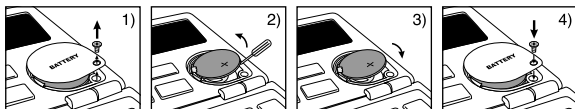
$$NOM = \left[\left(1+\frac{EFF}{100}\right)^{\frac{1}{N}} - 1\right]\times N \times 100$$

通貨換算計算

変換通貨＝基準通貨×取引レート

電池交換のしかた

液晶ディスプレイが薄くなる、コントラストを調節しても表示部の文字が不鮮明である場合、または、ディスプレイ上に電池残量が少ないことを示す次のようなメッセージが現れたら、直ちに電池を交換してください。

電池交換は、以下の手順で行ってください。

1. 切 を押して計算機の電源をオフにしてください。
2. 電池カバーを固定しているネジを外してください。
3. 電池カバーをそっと持ち上げてください。
4. ボールペン等の先の尖ったもので、古い電池を取り外してください。
5. プラス"+"側を上にして、新しい電池を装填してください。
6. 電池カバーを元の場所に取り付けてネジで留め、[RESET]ボタンを押し計算機を初期化させてください。

使用済みの電池は、+極と-極をテープで絶縁してから、地方自治体の条例、規則に従って廃棄してください。くわしくは各地方自治体にお問い合わせください。

仕様

電源	: リチウム電池1個 (CR2032 x 1)
消費電力	: 0.003W
電池寿命	: 約2年 ※1日1時間使用時
オートパワーオフ	: 約7分
仕様温度	: 0 ~ 40 °C
外形寸法	: 開いた状態 (W) 150× (L) 105× (H) 9.6 mm
	: 閉じた状態 (W) 105× (L) 77.6× (H) 13.8 mm
重量	: 89.0g (電池含む)

製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

安全上のご注意と使用上のお願い

「安全上のご注意と使用上のお願い」について

⚠ 警告　この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠ 注意　この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

⚠ 警告　使えなくなった電池を機器の中に放置したり、プラス『＋』の向きを逆に入れたりなど、電池は誤った使い方をすると、発熱して変形や液漏れの原因となることがあります。

⚠ 警告　この製品に使用している電池は小さなお子様の手の届かないところ保管してください。誤って飲み込むと危険です。万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意　液晶表示部分を強く押さえないでください。破損することでけがの原因となります。

⚠ 注意　本機器を分解、改造しないでください。内部の点検、調整、修理はキヤノンサービスセンターまたは販売店にご連絡ください。

⚠ 注意　強いショックを与えないで下さい。計算機の上に本を乗せる等、大きな力が加わると壊れることがあります。

- 計算機をふくときは乾いたやわらかい布をお使いください。シンナーやベンジン、ぬれ雑巾等はお使いにならないで下さい。
- 湿気、ホコリの多いところ、また結露した状態での使用、保管はお避けください。
- 低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が幾分遅くなることがありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 本書はお読みになった後も大切に保管して下さい。

本機を破棄する際は、地方自治体の条例、規則に従って廃棄してください。くわしくは各地方自治体にお問い合わせください。

修理お問い合わせ専用窓口

パーソナル機器修理受付センター（全国共通番号） 050-555-99088

[受付時間] 9:00 ～ 18:00 （日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます ）

製品取扱い方法ご相談窓口

キヤノンお客様相談センター （全国共通番号） 050-555-90025

[受付時間] 平日 9:00 ～ 20:00
土･日･祝日 10:00 ～ 17:00 （1月1日～1月3日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2008年 11月1日 現在

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

保 証 規 定

1. 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間中に、万一故障した場合は、本保証書を本製品に添付のうえ、弊社または表記の販売店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理または機械交換を行います。なお、この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となりますので、予めご了承願います。
2. 保証期間中でも次の場合は有料修理となります。
   (1) 取扱上の不注意、誤用による故障および損傷（表示画面のガラス割れ等）
   (2) 不適切な移動・落下等による故障および損傷
   (3) 弊社または表記の販売店以外での修理、改造による故障および損傷
   (4) キヤノン製以外の消耗品や部品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障および障害
   (5) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (6) 本保証書の提示がない場合
   (7) 本保証書にお買上年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合
   (8) 接続している他の機器に起因して故障が生じた場合
3. お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けするため、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用しています。なお、故障状況により部品交換方式を採用させていただく場合がございますので、予めご了承願います。
4. 消耗品類は、本保証書による保証の対象とはなりません。
5. 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、ご了承願います。
6. 転居、譲り受け、贈答等の場合で表記の販売店に修理を依頼できない場合には、弊社にお問合せください。
7. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
8. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※ 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これにより弊社及び弊社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※ 保証期間経過後は弊社規定の修理・交換料金を申し受けます。
※ 保証内容や修理のお問い合わせは、パーソナル機器受付センターまでお願い致します。

PRINTED CHINA
PUB. E-IJ-1168